

# 令和4年度福岡県新規事業について

## －若年女性がん検診促進事業－

# 全体像

## 【実施背景】

- ・本県がん検診受診率は、目標の50%未満
- ・本県がん検診受診率は、全国平均下回る
- ・中でも、性別では女性、年代では若年層が低い
- ・コロナ禍における受診控えの懸念

## 【若年女性がん検診促進事業】

- ①大学連携:女子大生と啓発資材の共同企画・開発
- ②企業連携:協定企業(※)女性従業員等へ養成講座  
協定企業と共同で啓発イベント実施
- ③九州各県連携:女性の検診受診促進フォーラム開催



従来の行政によるアプローチだけでなく、特に受診率の低い、若年女性の視点を取り入れながら、がん検診受診の啓発を「若年女性から各世代へ」幅広く展開

※協定企業(福岡県がん対策推進企業等連携協定企業)

福岡県とがん対策の推進に協力いただける企業・団体が協定を締結し、効果的な啓発、受診勧奨等の取組を行うもの。令和4年7月現在41社と協定締結。

# 実施背景

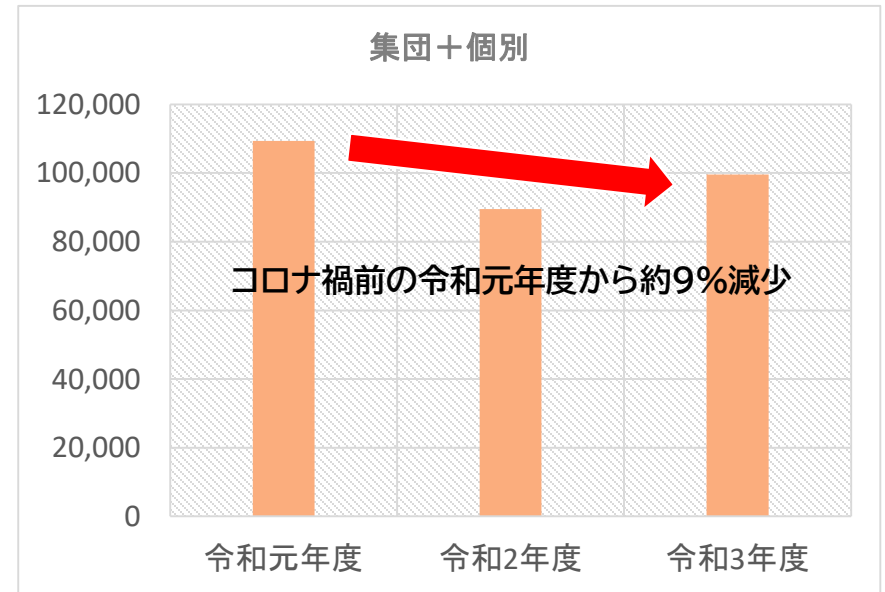
- ・ 本県がん検診受診率は、目標の50%未満
- ・ 本県がん検診受診率は、全国平均下回る
- ・ 中でも、性別では女性、年代では若年層が低い
- ・ コロナ禍における受診控えの懸念

令和元年がん検診受診率(国民生活基礎調査(※))

	全国			福岡県		
	総数	男	女	総数	男	女
胃がん	42.4%	48.0%	37.1%	40.5%	46.2%	35.4%
肺がん	49.4%	53.4%	45.6%	44.5%	48.9%	40.4%
大腸がん	44.2%	47.8%	40.9%	38.5%	42.6%	34.7%
乳がん	-	-	47.4%	-	-	44.3%
子宮頸がん	-	-	43.7%	-	-	39.6%
	20~24歳	-	15.1%	-	-	15.6%
	25~29	-	-	36.6%	-	36.0%
	30~34	-	-	49.4%	-	43.8%

※国民生活基礎調査

全人口のうち職域、市町村、人間ドック含むがん検診を受けた者の割合



※県内市町村がん検診受診者数(胃がん)がん感染症疾病対策課調査

# 若年女性がん検診促進事業

## ① 大学との連携 –Cプロジェクト(C: Cancerの頭文字)の実施–



- 各大学から女子大生2名が参加。計8名の女子大生と県が共同で、若年女性の視点に立った啓発資材の企画・制作・広報展開先等について、年4回程度議論。
- 連携大学: 純真学園大学(看護学科)、西日本工業大学(情報デザイン学科)、福岡県立大学(公共社会学科)、久留米大学(商学部・経済学部)
- がん征圧月間である9月を目途に、女子大生のアイデアを反映した、チラシ・ポスター・動画・グッズ等を実際に制作し、TVCMやSNS・交通広告等の掲載や、関係各所への配布等、幅広く広報展開。



# 若年女性がん検診促進事業



## ② 企業との連携

### ● 協定企業女性従業員等への養成講座

- ・ 協定企業の女性従業員等を対象に(講座受講のみであれば、女性従業員以外においても受講可。推進員の認定は女性従業員のみ)がん検診の重要性等を学ぶ養成講座を実施。
- ・ 講座修了者を「女性のがん検診受診啓発推進員(以下、推進員)」に認定し、認定証及び認定ロゴデータを送付。
- ・ 認定された推進員と連携し、協定企業内だけでなく、広く対外的に啓発活動を実施。
- ・ 令和4年7月27日(水)16時～、Web開催、受講者約3,000名(うち9割以上が女性)

### ● 協定企業と共同啓発イベント実施

- ・ 10月1日(土)(10月はピンクリボン月間)に、県、福岡市、協定企業等が連携し「旧福岡県公会堂貴賓館(福岡市中央区西中洲)」にブースを複数出展し、共同啓発イベントを実施。

## ③ 九州各県との連携

### ● 受診促進フォーラム開催

- ・ 10月のピンクリボン月間に、健康の大切さ、がんの早期発見・早期治療の重要性等を伝える「九州・山口 女性のための健康フォーラム(仮)」を九州各県が連携して開催。

(九州地域戦略会議「第2期九州創生アクションプラン(JEWELS+)」関連事業)